



八束中学校

クリーン作戦



きちんと分別して入れています

八束中学校では、地域の皆さんに学校での活動に協力してもらうほかに、私たちも生徒会を中心として地域の環境をよくするための活動を行っています。主なものとして、地域の人に呼びかけてリサイクル対象の物を体育館の下に持ってきてもらい、自分たちで収集車に積み込む地域廃品回収作業を、年2回行っています。学年別の活動としては、地域を分担して清掃活動に取り組み「クリーン作戦」を行っています。昨年度は冬期に行い、みんな寒空の下、精いっぱい作業に取り組みました。昨年度は特にごみが多く、拾っても拾っても減らず大変でした。国道沿いには、たばこや空き缶、食べた物のゴミとかがたくさんあり、山側では冷蔵庫など不法投棄された物や、中には土に埋まっている物もあり、驚きながら作業を進めました。

また、春の新入生歓迎遠足では徒歩で学校から約6km離れた名鹿の浜まで行く途中、堤防や道路沿いのゴミを拾っていく活動もしています。重たくなったゴミ袋を、長い道のりを交代で持ちながら、汗びっしょりになって運んでいきます。

昨年度は、1年生がポイ捨て防止の立て看板を制作し、執行部のメンバーが八束地区の3カ所に設置してきました。私たちも活動を通して、あらためてポイ捨てはいけないと自覚していきます。そして、私たちが作業をすることによって、地域の皆さんにも環境美化を意識してもらえらるよう、これからも頑張っていきたいです。



拾ったゴミを積み込んで「はいポーズ！」

川崎小学校

西土佐学童保育施設開所

新しい年度を迎え、生徒たちが始業式を迎える前の4月5日、川崎小学校横に待望の学童保育施設が開所しました。これまで放課後学校施設内で行っていた学童保育は、今後は新しくできた施設で行うこととなります。

4月8日から実際に学童保育が始まり、初めて施設に入った子供たちは、新しい施設に大はしゃぎ。とても広くてきれいな部屋、ピカピカのトイレ、大きなテレビ、子供たちがはしゃぐのも納得の施設です。室内ではワイワイと児童の大歓声が響き、桜の花びらが舞う外では、児童たちがバトミントンをしたり、鬼ごっこをして走り回ったり、みんなが元気に遊んでいます。でも一転、勉強の時間が始まると、学童支援員が見守る中、児童みんながきちんと机に並び、一生懸命宿題をしていました。

この学童保育施設は、西土佐地域の学校再編後も利用されるため、来年度以降はさらに利用者が増える予定です。施設内の歓声は来年度、ますます大きくなることでしょう。



できたてピカピカの学童施設



みんなでいっしょにお勉強！

スクールミールにしとさ完成

昨年8月から建設工事を進めていた給食調理施設の「スクールミールにしとさ」が2月末に完成しました。(総事業費約1億7,200万円)

この施設は、鉄骨平屋建て398㎡で、床に水を流さずに乾いた状態で調理や洗浄作業を行うドライシステム方式となっており、オール電化方式を取り入れています。調理能力は一日300食です。

本年度は西土佐中学校と川崎小学校の給食調理を行うことになり、既に4月7日の始業式から本格稼働を行い、子どもたちにおいしい給食を提供しています。

